

## ご挨拶



日本ミニトン協会会長 守本孝造

小さなヨットで大きな満足

第36回ミニトン全日本選手権大会は浦安マリーナ（東京湾・東京ディズニーシー沖及び海ほたる周辺の海域）で開催されます。ホストマリーナ並びに大会の関係者の皆さま、大会の準備ご苦労様です。ミニトン全日本選手権大会が諸先輩や関係者の皆さまに支えられ、36回を迎えられた事は大変意義深い事です。心からお礼申し上げます。

さて私の手元にあるミニトン（関西）の資料を見返しますと、1979年に日産マリーナ東海で第1回ミニトン全日本選手権大会が開催され小林義彦さまがDUB23で優勝されています。当時のレース期間は4日間とか2週間等と、今では想像もつきません。関西選手権の記録を参考に見ると、第一週目の日曜日に地元のインスペクションを行い、第二週目に遠来艇の受け入れを行い、土曜日にインスペクション。艇長会議に前夜祭が行われています。その翌日の日曜日レースを行い、第三週目の日曜日に残りのレースが行われていた様です。今や週休二日が常識の時代ですが、日本の経済が大きく膨らみ、皆が企業戦士などと呼ばれている時に、2日間のレース日を取るために、2週間を費やしレースが開催されていた事を考えると、諸先輩方の努力と勇気に痛み入るばかりです。

しかし今やわが国にはミニトンクラスの製造に手を出すメーカーも見当たらず、現在在る艇のスケール（大きさ）を拡大したり、またワンデザインクラスの艇にまで仲間を増やそうと考えていますが、確立されたクラス（J70やMelgesなど）はクラスのコンセプトデザインがあり、またクラスの楽しみ方が有るようです。

私たちミニトンは、最少の仲間で、早くシーマンシップが磨け、かつ楽しく腕を競いあえます。ジャパンカップ、ミドルボートの次に続く集団として、自分達の乗り慣れた愛艇で、一つのクラスを成熟させたいと思います。『小さなヨットで大きな満足を！』夢は膨らむばかりです。